

(陳受23第14号)

年間被曝 1 ミリシーベルトを超えないための市への要望に関する陳情

受理年月日 平成23年 6 月 7 日

陳 情 者 関根 智子

陳 情 の 要 旨

年間被曝 1 ミリシーベルトを超えないために、下記のことを市が実施することを要望します。

記

- 1 子どもの居場所に関する定期的な放射線量測定と公表（地表・50センチメートル・1メートルでの計測）。
- 2 市内農作物の独自検査と公表。
- 3 市内土壌の放射性物質の検査・解析・公表（5センチメートル掘っての計測ではなく表土の数値。ヨウ素・セシウムのみならず、その他の物質（プルトニウムなど）についても実施すること。）。
- 4 園庭・校庭の表土剥離と緑化（砂じんとともに放射性物質が舞い上がり、それを吸い込む内部被曝を抑える緑化プロジェクト）。
- 5 保育園・幼稚園・小学校・中学校での給食の食材・牛乳の独自検査（中国では福島・栃木・群馬・茨城・千葉・宮城・山形・新潟・長野・埼玉・東京の食品・農産物及び飼料を輸入禁止にしています。国の基準値は甘過ぎるので、原発事故以前の基準値で検査を実施すること。）。
- 6 子どもの居場所の除染の徹底（室内の放射線量を下げするために床の水ぶき、モップがけ、雨にぬれた部分のデッキブラシがけ等を実施すること。）。
- 7 給食や水道水を口にするのが嫌な児童・生徒に弁当・水筒の持参を許可し、学校側も理解・協力すること（他人と違うことを委縮せずにできるようにサポート）。